



ちゅら風通信

編集/名桜大学看護学科ニュースレター編集委員会 〒905-8585 名護市為又 1220-1 Tel0980-51-1100

ちゅら風通信第1号発行によせて

看護学科長 金城祥教



市民の皆様 高校生の皆様へ

名護市ピーマタの高台（名桜大学看護学科）から、ちゅら風通信をお届けします。

名桜大学人間健康学部は 名護市ピーマタの高台に位置し、美しい緑に囲まれ青空が広がるキャンパスは看護師を志す者には、すばらしい環境に恵まれております。そこから見渡す名護湾は大変美しく、遠方につらなる恩名岳を映してエメラルドグリーンに輝き、沈む夕日を眺めながら青春を語るには最高のキャンパスでもあります。

人間健康学部看護学科はこの4月にオープンいたしました。1期生はフロンティア精神にみなぎり、日々勉学に精進しております。先生方も新しい看護教育—参画型看護教育—を理念として掲げ、意欲的に学生と「協働参画」の精神のもと、さまざまな取り組みを行っております。

このちゅら風（かじ）通信は 看護学科における教育実践と学生のキャンパスライフを広く市民へお知らせすると共に、この通信が名桜大学の看護教育を市民と共につくりあげる「場」となることを願って、学生と教員が編集・発行を行うものです。どうぞ、これからもこの通信をご愛顧くださいますように、こころからお願い申し上げます。平成19年9月 吉日

ICN Conference and CRN 2007で発表

国際看護協会が主催する ICN Conference and CNR 2007 が5月27日から6月1日にかけて横浜で開催されました。金城祥教学科長と鈴木啓子教授が参加しました。金城学科長は「Nurses Coping with Workplace Violence and support in the workplace in Japan」鈴木教授は「Violence against Hospital Nurses from Patient in Japan: variation among personal attribute and department」のテーマで発表しました。



南裕子ICN会長と共に

第二回ルーラルナースング学会学術集会

6月30日（土）～7月1日（日）の2日間、日本ルーラルナースング学会第2回学術集会が「島嶼・へき地から健康への挑戦」—島人が育てる看護学—をテーマに本学で開催されました。学会プログラムは、鼎談、シンポジウム、ラウンドミーティングから構成され、鼎談では「島人の健康確保の表と裏」と題して、元伊江島村長さんを中心に住民の生命を守り、健康を願う熱い思いと人材確保、施設設備などを語っていただき深い感動を与えました。シンポジウムでは、へき地における人々の健康支援を看護の立場から教育・人材確保・実践の視点からご講演いただき、参加者から多くの共感を得ました。ラウンドミーティングでは5分科会に分かれて病院、診療所、訪問看護ステーション市町村、保健所、教育機関などから日頃の実践と研究成果を発表し、活発な討論が行われました。



懇親会にて

日本ルーラルナースング学会長
吉川千恵子教授

左より 野口美和子学会理事長
岸本春菜（看護学科一年生）
瀬名波榮喜名桜大学学長



フレッシュマンセミナー発表会

名桜大学看護学科の特徴として、「フレッシュマンセミナー」という科目を履修します。目的はこれから看護学を学ぶ“フレッシュマン”が保健医療分野に拘らず様々な分野に対して主体的・能動的に学ぶ学習態度を身に付けることにあります。内容は、1グループ2~4名になり、地域の人々の暮らしの成り立ちに関するテーマを学生自らが設定し、身近な地域へ赴き、フィールドワークで得た知識や情報をもとに協働探究活動を行います。7月25日(水)には、フレッシュマンセミナーの全体発表会が学生食堂で開催されました。テーマは社会・教育・医療問題など色々な視点に立った課題に挑みました。学会のポスターセッションのように決められた時間内に各グループが発表・質疑応答をこなしました。発表後の学生の顔はとても満足感に溢れていました。1年次から自分の興味のある様々なテーマに“体を張って”取り組むことができるのは視野や関心を広げる意味で大変貴重な機会です。インタビュー後のインフォーマント(聞き取り対象者)の意見には「何を聞きたいのか不明確」という辛い評価もありましたが、多くは「非常によい取り組み」「医療人の感性を磨くよい機会」「地域に根差した情熱ある学生の育成に期待」と好評でした。

小川寿美子准教授



初めての看護実習一名桜ナースの卵たち大活躍

第1回ふれあい看護実習が9月10日～21日までの2週間、下記の施設で行われました。最初の実習でワクワクドキドキ緊張しながらも、名桜カラーをあしらった桜ユニホームで楽しく充実した実習でした。(^^)

9月21日の最終発表会では、実習施設からも指導者の方が駆けつけて、激励して下さいました。今回の実習では、eラーニング（遠隔教育）の試みとして、名桜大学のメディアネットワークセンターの協力で、実習施設と大学さらに他の実習施設との間でのインターネットを介しての遠隔カンファレンスも行いました。➡



ふれあい看護実習施設の紹介

～お世話になりました！～

もとぶ野毛病院 中部徳洲会病院 沖縄病院 宜野湾記念病院 今帰仁村保健センター 北部福祉保健所 介護老人保健施設桃源の郷 平和病院 北部地区医師会病院連携室 いずみ病院・いずみ苑

—編集後記—

ちゅら風通信広報隊です。
念願の一号を発行することができました。
これから、名桜大学看護学科を盛り上げて、そのパワーを校外外にジワジワと広げていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

メンバー： 平安諒也、神里隼野、
仲宗根誠也、外間聖子、仲程晴香



【学生支援：名桜大学看護学科広報委員会】